YAMABIKO

DRIVE CHANGE



2026年12月期
第3四半期
決算説明資料

2026年11月20日

株式会社やまびこ

決算サマリ

- 売上高は前年同期比で＋12%の増収。北米市場においてOPE※の価格改定や各種販促活動が奏功したほか、一般産業用機械において大手レンタル会社向け発電機販売が大きく伸長した。欧州市場におけるロボット芝刈機が販売を下支え。

- 利益面では、米国関税の還付による原価率改善に加え、増収効果および為替影響により、営業利益が増益。これに伴い、経常利益および四半期純利益も増益。

- 2026年12月期の予想は、景気動向の不透明感を織り込むものの、第2四半期決算時に公表した予想を据え置き、計画達成を見込む。

	売上高	営業利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2026年12月期 3Q実績	**152,081**百万円 **（前年同期比 +12.4%）**	**20,587**百万円 **（前年同期比 +22.5%）**	**14,817**百万円 **（前年同期比 +27.0%）**
2026年12月期 予想	**190,000**百万円 **（前回予想比 ±0%）**	**23,000**百万円 **（前回予想比 ±0%）**	**16,500**百万円 **（前回予想比 ±0%）**

(※)「OPE」＝Outdoor Power Equipment

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

INDEX

1. 2026年12月期 第3四半期 決算概要 4

2026年12月期 第3四半期 経営成績 5
セグメント別経営成績 6
売上高実績（セグメント・地域別） 7
連結売上高および連結営業利益の増減 8
四半期別業績推移 9

2. 2026年12月期 業績予想 10

2026年12月期 通期予想 11
連結売上高のセグメント別増減予想（円換算ベース） 12
連結営業利益の増減予想 13
設備投資・研究開発費・減価償却費 14
株主還元政策 15
トピックス 16
やまびこの存在意義 17

APPENDIX 18

会社概要 19
やまびこの歩み 20
業績推移と売上構成 21
事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE） 22
事業セグメント：農業用管理機械 23
事業セグメント：一般産業用機械 24
ECHOを中核とするブランドポートフォリオ 25
OPE市場規模 26
国内生産体制 27
海外生産体制 28
販売体制 29
主要販売子会社：やまびこジャパン株式会社 30
主要販売子会社：エコー・インコーポレイテッド 31
主要販売子会社：やまびこヨーロッパ・エス・エイ 32
主な販売経路 33

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

1 2026年12月期 第3四半期 決算概要

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

2026年12月期 第3四半期 経営成績

- 売上高は前年同期比増収。北米における干ばつや欧州での熱波など天候不順の影響があったものの、北米市場におけるOPE※の価格改定が奏功。一般産業用機械は大手レンタル会社向けに発電機の販売が堅調に推移。欧州市場も、ロボット芝刈機の販売が下支えした。

- 損益面では、米国関税の還付による原価率改善に加え、売上高の増加や為替影響により営業利益が増益。これに伴い、経常利益および四半期純利益も増益。

売上高
152,081百万円
前年同期比 +12.4%

営業利益
20,587百万円
前年同期比 +22.5%

親会社株主に帰属する四半期純利益
14,817 百万円
前年同期比 +27.0%

（百万円）	25/12期 3Q 実績	構成比（%）	26/12期 3Q 実績	構成比（%）	前年同期比（%）
売上高	135,317	100.0	152,081	100.0	+12.4
売上原価	89,403	66.1	100,144	65.8	+12.0
販管費	29,114	21.5	31,348	20.6	+7.7
営業利益	16,799	12.4	20,587	13.5	+22.5
経常利益	16,053	11.9	20,362	13.4	+26.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,668	8.6	14,817	9.7	+27.0

為替レート

通貨	25/12期 3Q	26/12期 3Q	前年同期比(%)
1ドル	148 円	159円	+7.2
1ユーロ	166 円	184円	+11.2

(※)「OPE」＝Outdoor Power Equipment

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

セグメント別経営成績

売上高

（百万円）

セグメント	25/12期 3Q	26/12期 3Q	前年比（%）
合計	135,317	**152,081**	**+12.4**
小型屋外作業機械	102,697	**113,804**	**+10.8**
一般産業用機械	11,678	**17,415**	**+49.1**
農業用管理機械	19,128	**19,166**	**+0.2**
その他	1,812	**1,695**	**▲6.5**
（調整額）	-	-	-

営業利益

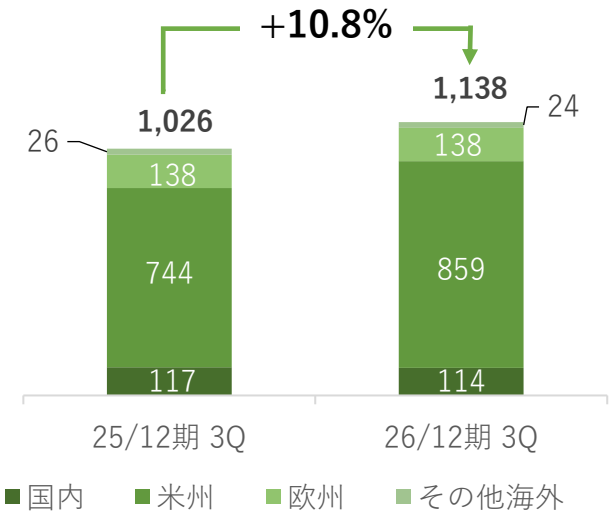
（百万円）

セグメント	25/12期 3Q	26/12期 3Q	前年比（%）
合計	16,799	**20,587**	**+22.5**
小型屋外作業機械	22,609	**25,383**	**+12.3**
一般産業用機械	1,160	**2,173**	**+87.4**
農業用管理機械	510	**792**	**+55.4**
その他	464	**427**	**▲8.0**
全社共通費	▲7,944	**▲8,190**	**▲3.1**

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

売上高実績（セグメント・地域別）

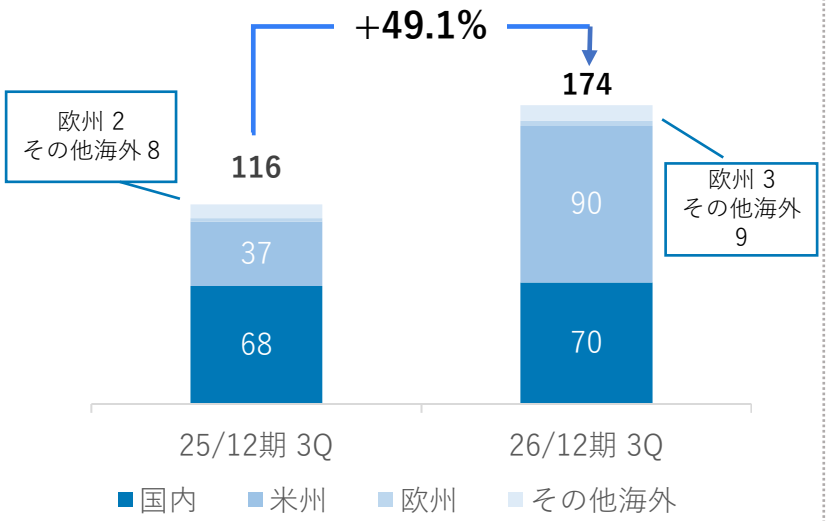
小型屋外作業機械（OPE）（単位：億円）



地域	前年同期比
国内	▲2.4%
米州	+7.7%
（うち北米）	(+9.0%)
欧州	▲9.9%

※海外地域の前年同期比は為替影響を除く

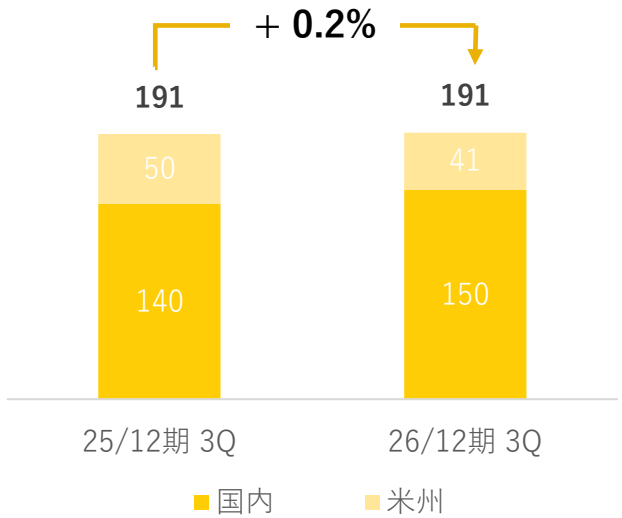
一般産業用機械 （単位：億円）



地域	前年同期比
国内	+3.2%
米州	+129.3%
（うち北米）	(+128.6%)

※海外地域の前年同期比は為替影響を除く

農業用管理機械 （単位：億円）



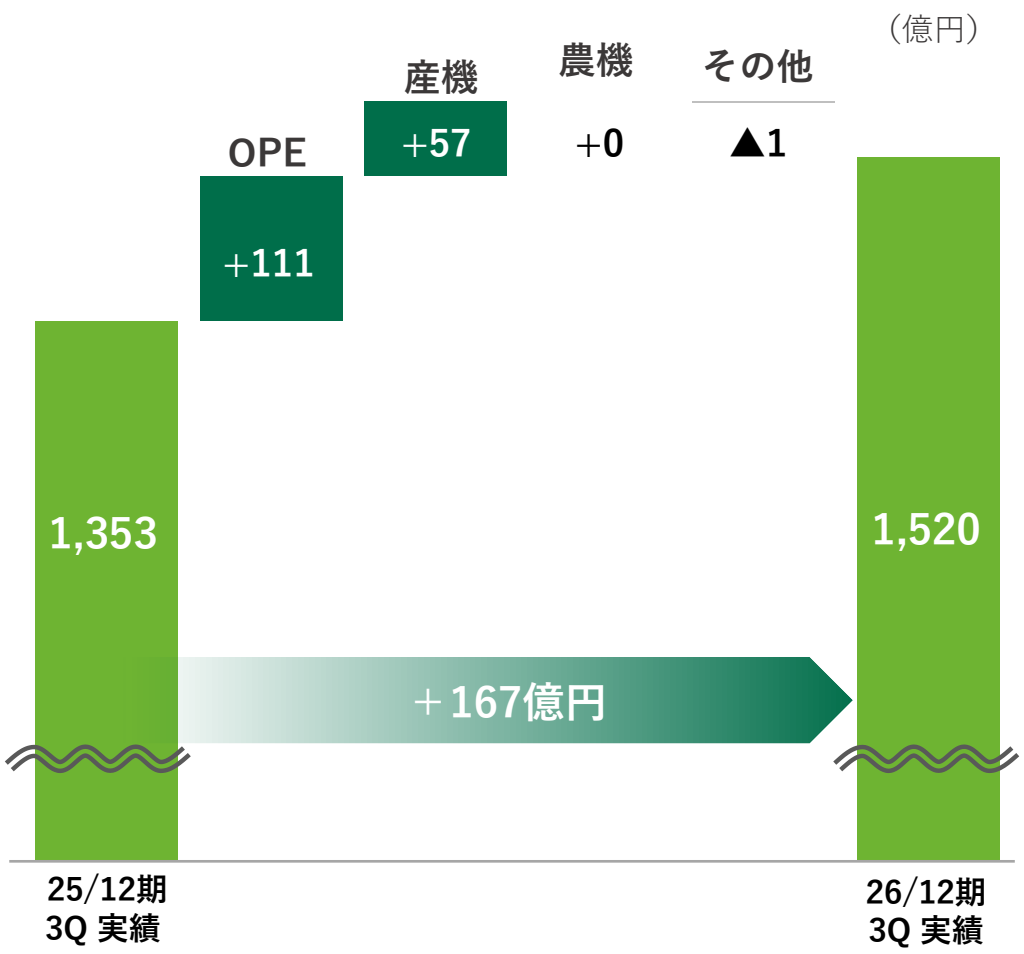
地域	前年同期比
国内	+7.1%
米州	▲24.3%

※海外地域の前年同期比は為替影響を除く

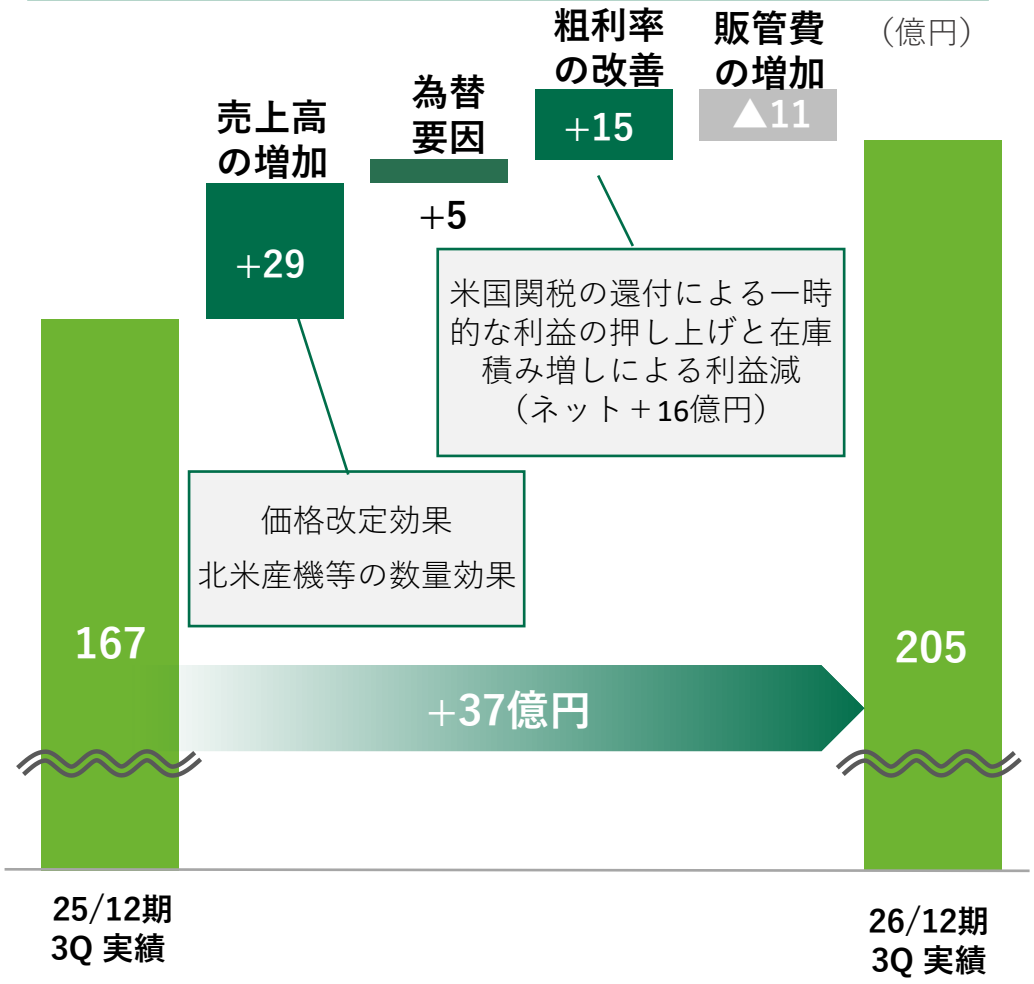
©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

連結売上高および連結営業利益の増減

売上高

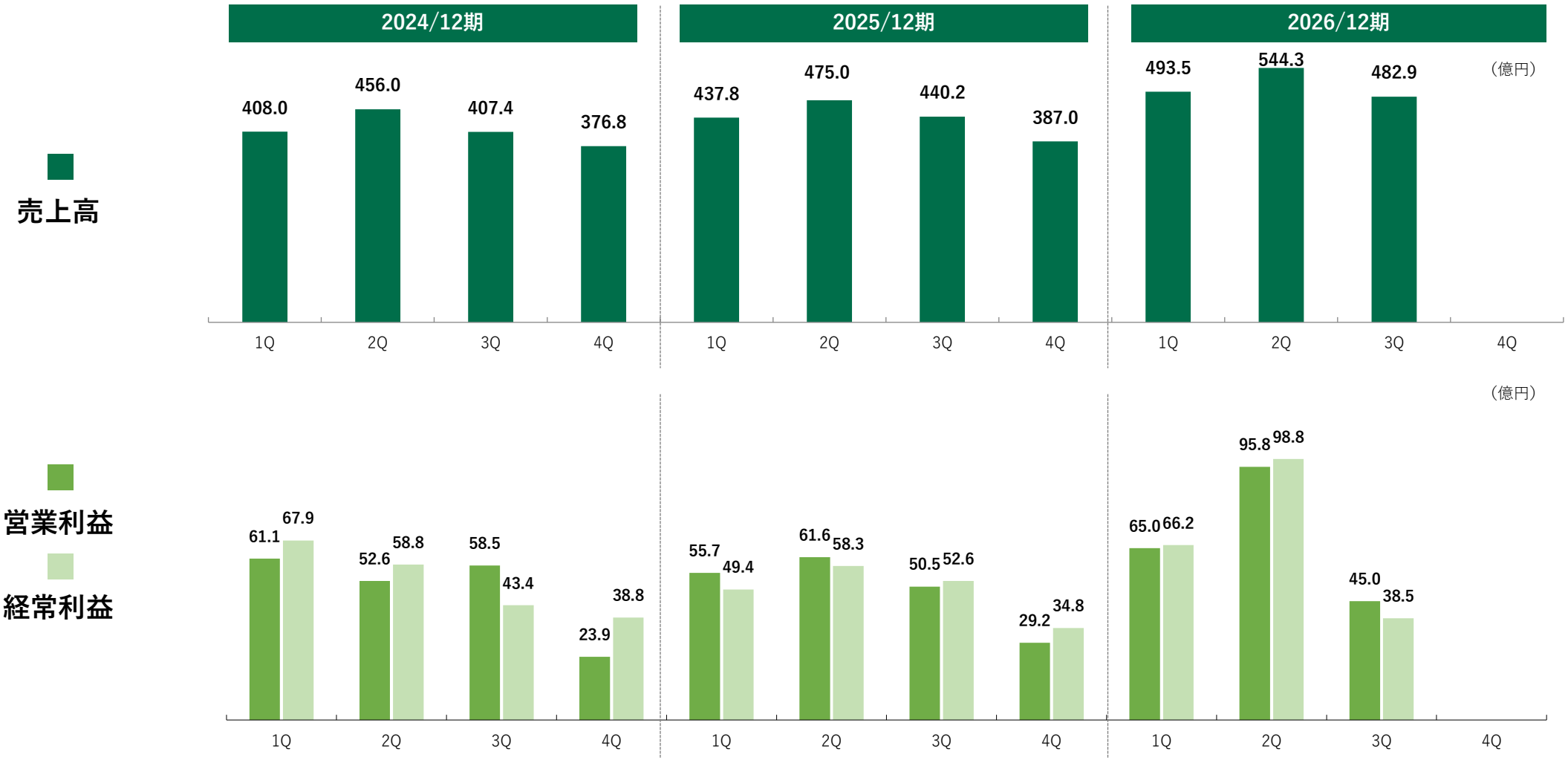


営業利益



©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

四半期別業績推移



©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

2 2026年12月期 業績予想

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

2026年12月期 通期予想

- 4Qの想定レートは1USドル：155円、1ユーロ：180円に据え置き、通期予想も前回公表時から修正なし。
- 売上高1,900億円、営業利益230億円、経常利益230億円、当期純利益165億円の見通し。
- 売上高は、北米におけるOPEを中心とした価格転嫁効果の寄与および一般産業用機械の販売が好調に推移していることを織り込む。
  利益面は、米国関税の還付等による原価率の改善により増益を見込む。

（百万円）	25/12期 実績	構成比（%）	26/12期 予想	構成比（%）	前年比（%）	26/12期 前回予想 (8/7公表)
売上高	174,020	100.0	**190,000**	**100.0**	**+9.2**	**190,000**
売上原価	115,694	66.5	**124,500**	**65.5**	**+7.6**	**124,500**
販管費	38,603	22.2	**42,500**	**22.4**	**+10.1**	**42,500**
営業利益	19,722	11.3	**23,000**	**12.1**	**+16.6**	**23,000**
経常利益	19,537	11.2	**23,000**	**12.1**	**+17.7**	**23,000**
親会社株主に帰属する当期純利益	14,444	8.3	**16,500**	**8.7**	**+14.2**	**16,500**

為替レート

通貨	25/12期	26/12期 予想
1ドル	150 円	**155** 円
1ユーロ	169 円	**180** 円

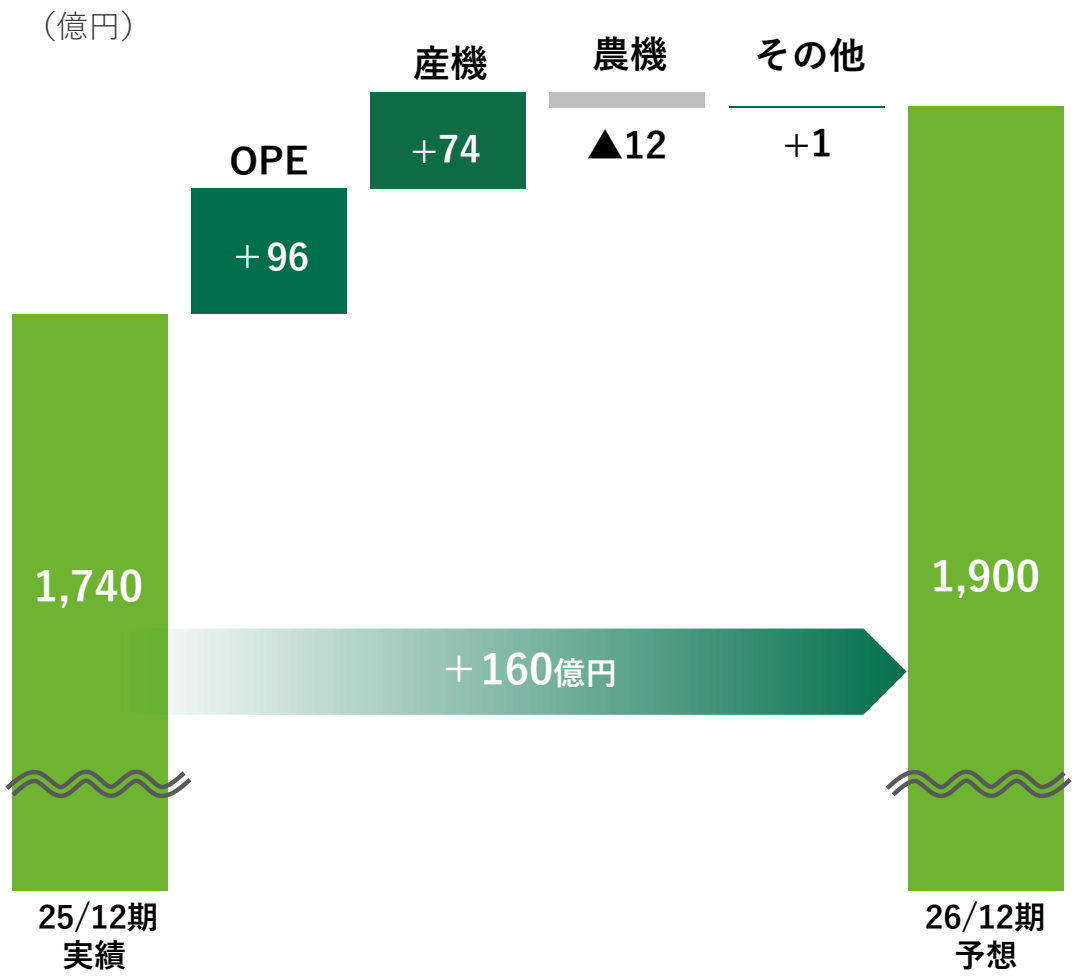
2026年4Qの為替影響

（1円変動/円安:+, 円高:-）

通貨	売上高	経常利益
1ドル	±**1.9** 億円	±**0.4** 億円
1ユーロ	±**0.3** 億円	±**0.5** 億円

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

連結売上高のセグメント別増減予想（円換算ベース）



小型屋外作業機械(OPE)

持続的成長を続ける北米市場において、OPE製品を中心とした価格改定や各種販促活動の効果が寄与。また欧州でもロボット芝刈機の堅調な販売により売上増加を見込む。

一般産業用機械(産機)

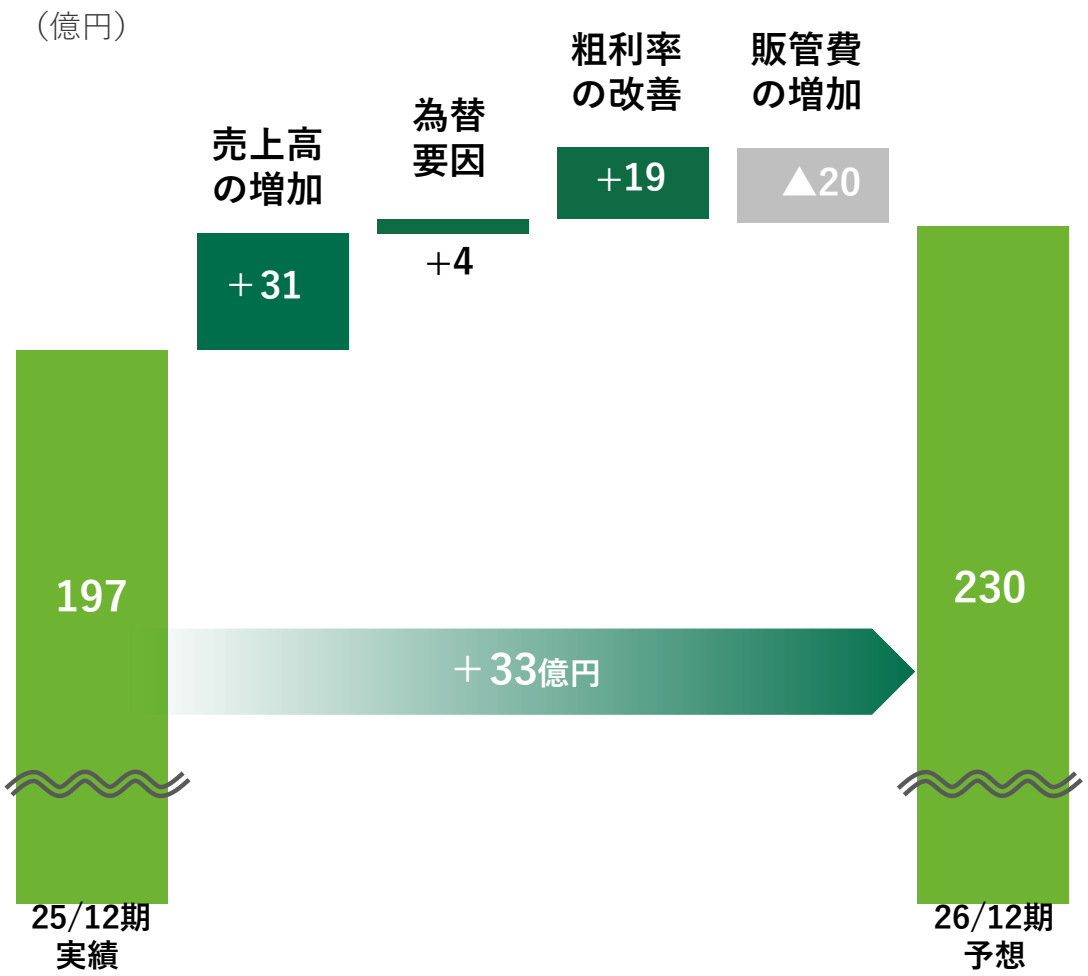
北米市場において、現地レンタル会社向けの発電機の販売が好調に推移していることに加え、年初に取得した投光機事業による販売増加を見込む。

農業用管理機械(農機)

国内では、草刈関連製品の販売が堅調に推移している一方で、北米では引き続き穀物価格の低迷等を背景に、農業従事者の設備投資意欲が低下しており、減収の見通し。

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

連結営業利益の増減予想



売上高要因

為替の影響を除いた実質売上高の増加による利益増。

為替要因

前期実績に対しての円安想定による利益の増加。

粗利率

材料費等のコスト上昇や米国関税影響を受けるも、継続した価格改定効果や収益性の高いロボット事業拡大が寄与。米国関税還付による一時的な利益増、及び在庫積み増しによる利益減を含む。

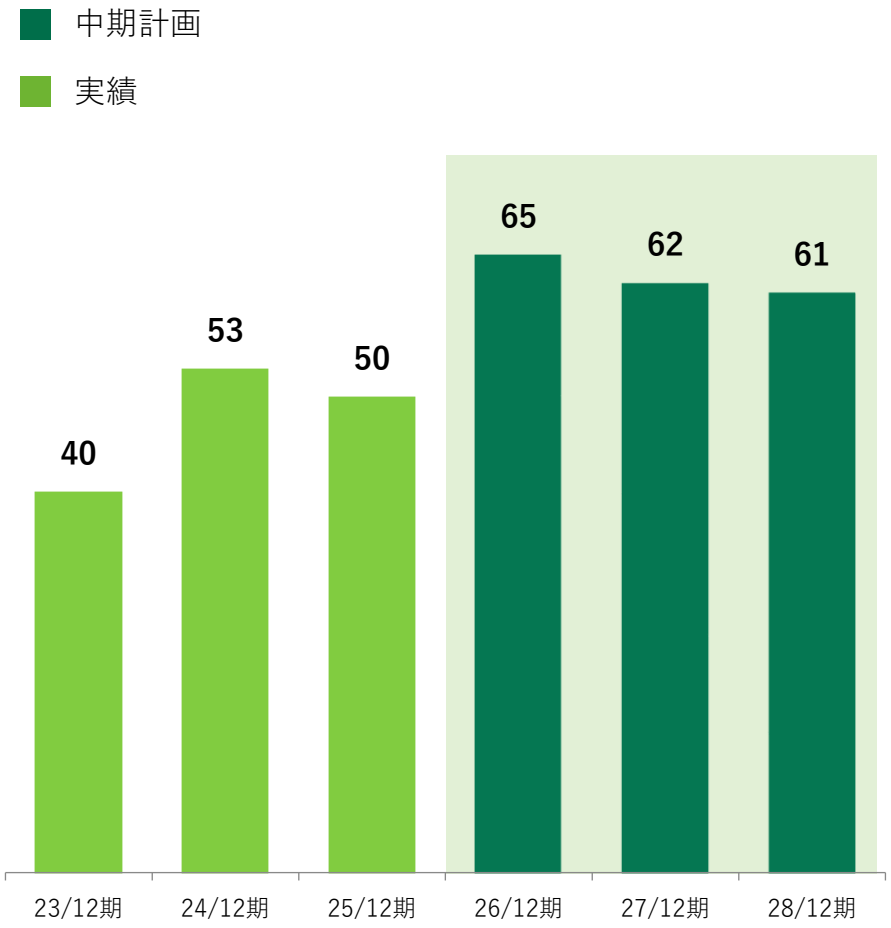
販売管理費

人的資本投資やIT投資、研究開発費（新規事業等）、マーケティング費用等の販管費の増加を見込む。

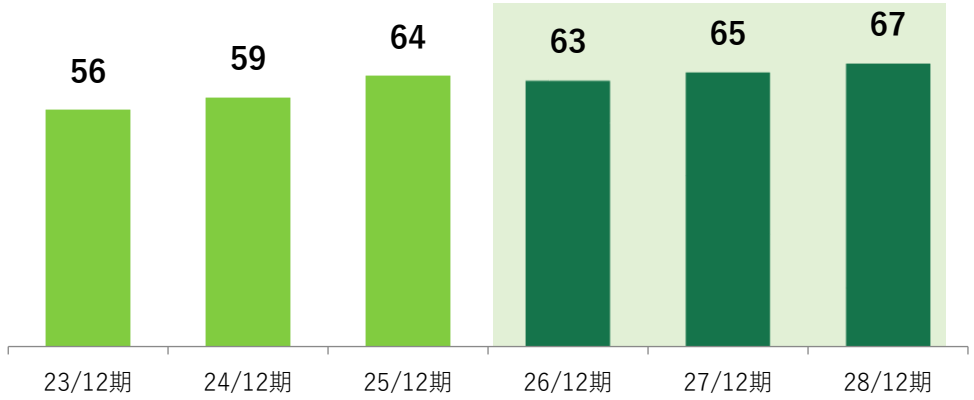
©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

設備投資・研究開発費・減価償却費

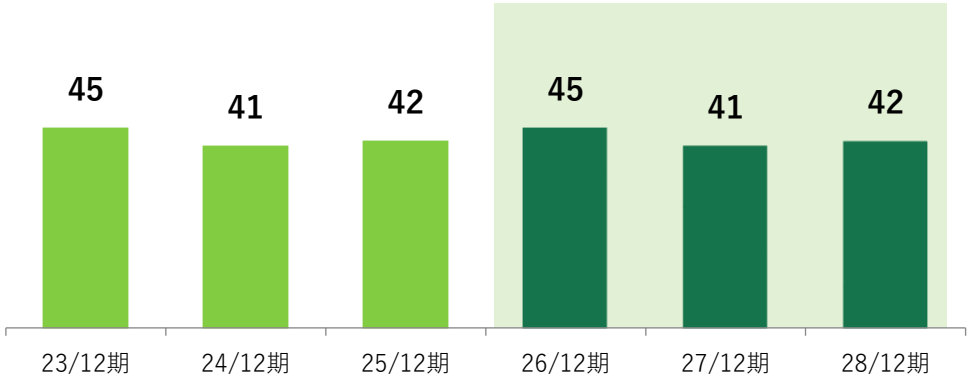
設備投資（億円）



研究開発費（億円）



減価償却費（億円）

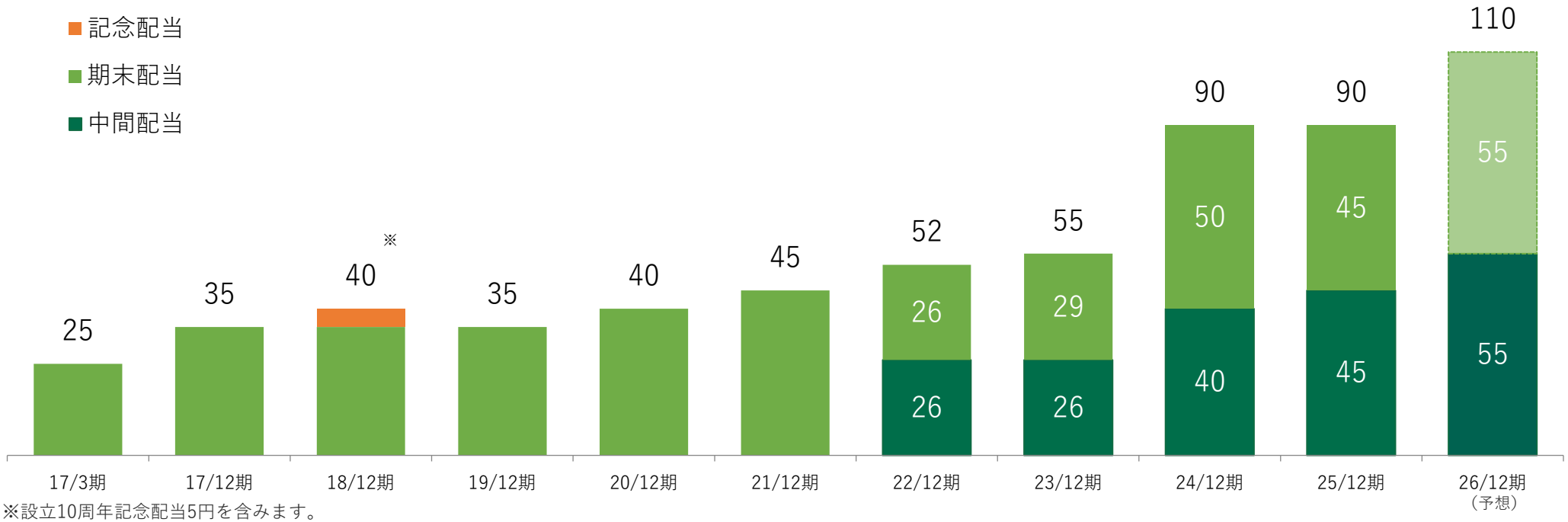


©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

配当性向30%を目安に、過去の配当実績に基づいた安定的な配当を継続

- 成長投資の進捗状況や財務状況等を勘案するとともに、株式市場の動向も注視し、自己株式の取得を含めた総合的な還元策を検討
- 26/12期の配当は中間・期末ともに55円とし、年間110円（前期比20円の増配）の予定
- 期末配当予想は現時点で据え置き。今後の業績動向や通期実績の確定を踏まえ、最終配当額を決定する

一株あたり配当額推移（円）



※設立10周年記念配当5円を含みます。

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

海外営業およびマーケティング機能をやまびこジャパンへ統合

- ✓ やまびこの営業本部が担ってきた海外営業およびマーケティング機能を連結販売子会社のやまびこジャパンへ統合
- ✓ 米州、欧州、国内・アジア・オセアニアの”三極体制”を構築し、グローバルでの成長加速と組織運営の効率化を図る

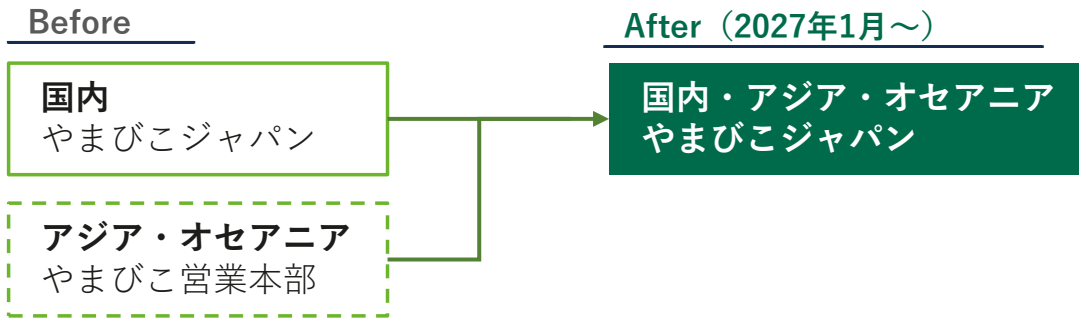
■期待効果

・“三極体制”の構築と地域間連携の強化

・市場情報共有による製品開発の効率性向上、販売戦術の水平展開

・ブランディングの本社機能を統合、効率的な施策の打ち出し

・日本市場の深耕とアジアの市場成長の取り込み



欧州事業におけるロボティクス事業のプレゼンス向上

- ✓ 駐日ベルギー王国大使館で開催されたキングスデー・レセプションに出席

■概要

・11月16日、駐日ベルギー王国大使館で開催されたキングスデー・レセプションに株式会社やまびことして出席

・ベルギー政府関係者および経済界とのネットワークを構築

■背景

・ 2002年よりベルギーに拠点(YAMABIKO EUROPE SA)を置き、欧州での販売体制および事業基盤を強化

・ベルギーではロボット関連製品を開発・製造しており、全世界で販売が拡大

・欧州並びに世界での省人化・自動化需要を取り込む



YAMABIKO EUROPE SA



ロボット関連製品の開発・製造・販売
および小型屋外作業機械の販売

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）



私たちやまびこグループは、
世界最高レベルの環境技術と安全・安心で革新的な良く働く機器とサービスで、
社会と人々に信頼と感動をもたらし、期待され、
豊かな自然と共生する輝く未来創りに貢献します。

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

APPENDIX

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

会社名	株式会社やまびこ （YAMABIKO CORPORATION）
設立	2008年12月1日
本社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売上高	174,020百万円（2025年12月期連結）
資本金	6,000百万円
決算期	12月31日
連結子会社数	14社※（国内6社・海外8社／2025年12月末現在）
従業員数	2,945名 （2025年12月末現在／連結）
上場市場	東京証券取引所プライム
証券コード	6250
発行済株式総数	44,108,428株 （2025年12月末現在）
単元株式数	100株

※持分法適用関連会社1社を除く

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）





世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発

KIORITZ　ECHO

株式会社 共立

設立 1947年 （昭和22年）






2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立

KIORITZ　shindaiwa　ECHO

YAMABIKO

株式会社やまびこ

設立 2008年 （平成20年）

新ダイワ工業株式会社

設立 1952年 （昭和27年）





電動チェンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

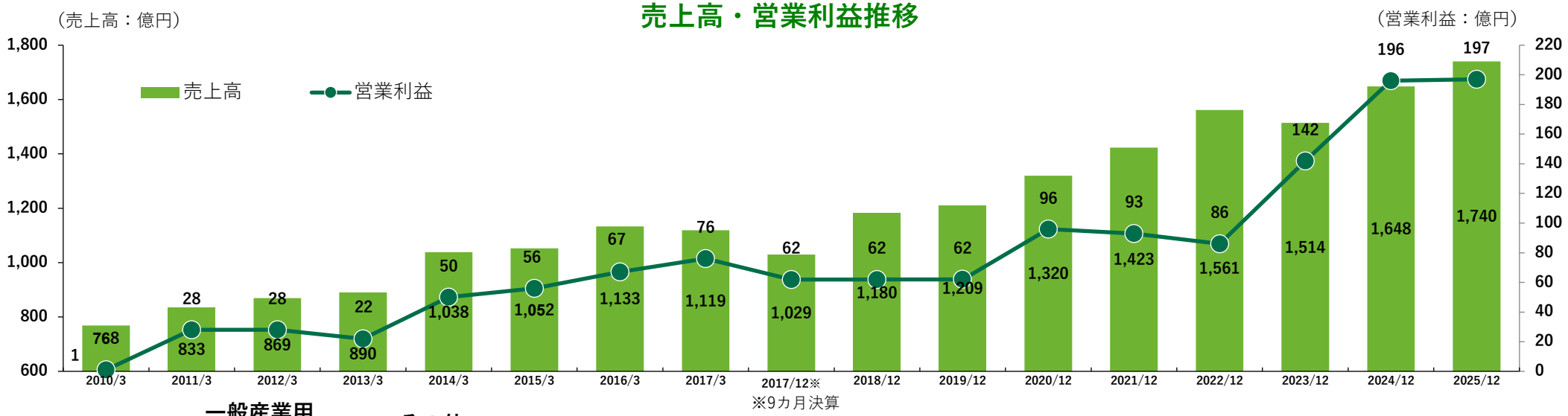
shindaiwa

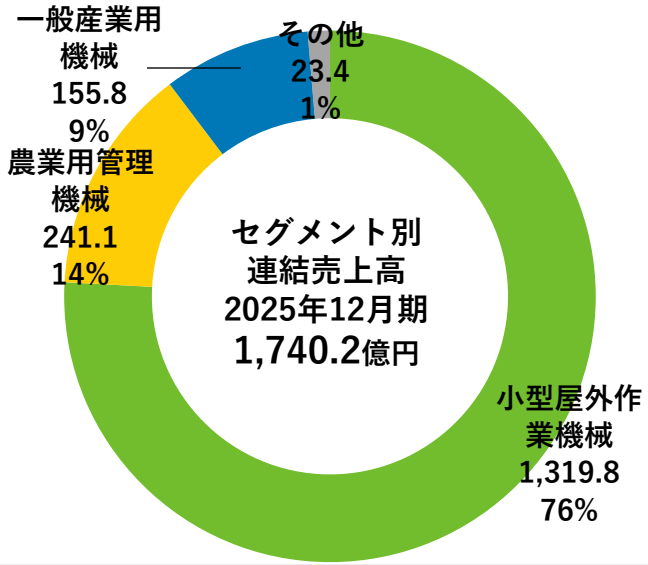
社名の由来

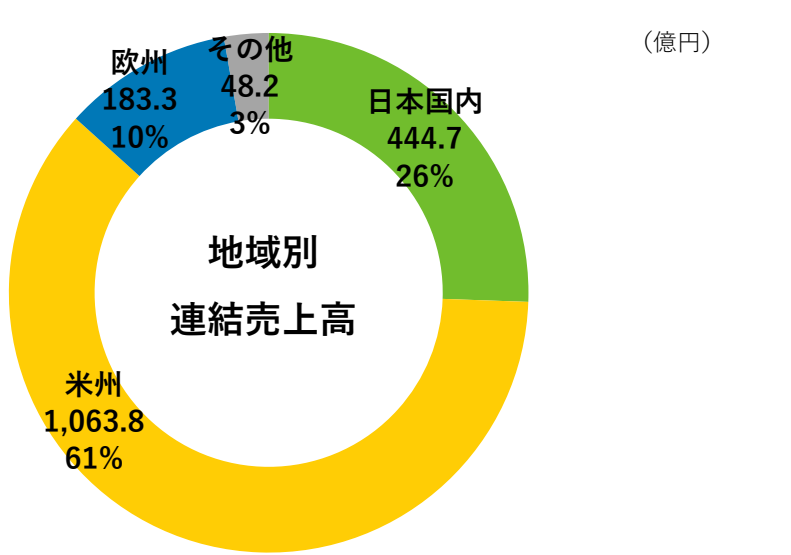
山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

売上高・営業利益推移



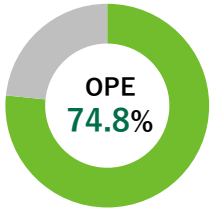


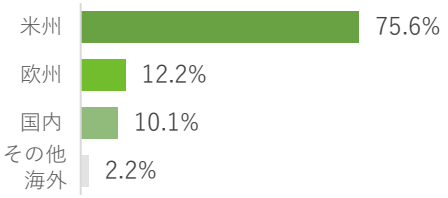


©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）

売上高・地域別構成比
（2026年12月期 第3四半期）





国内は農家・林業家の芝刈や伐木用として、海外はOPE※と称され、主に緑地管理を事業とする専門業者が庭や緑地の管理に使用する作業機として販売

海外においては造園業など緑地管理を事業とする専門業者向けのプロユーザー市場と主に自家用で使用する住宅所有者向けの一般ユーザー市場に分類

製品は動力源にエンジンやモーターを搭載した屋外作業機のほか、ロボット芝刈機も含む



市場ニーズを満たす製品開発力

- 動力源を問わず、プロユーザー向けの高い作業効率を持つ製品を開発



技術的な強み

高品質・環境規制に適合したエンジン

- 小型・軽量・高出力(手持機械に最適)・低コスト
- 環境対応エンジン認証数、業界トップクラス

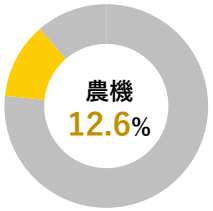
環境負荷低減と作業性の両立

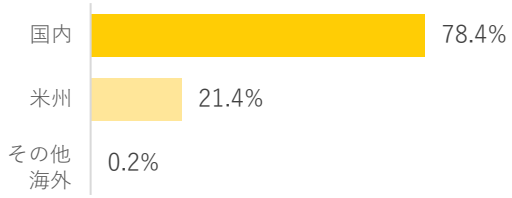
- プロサイドに立った出力・制御技術に優れる電動製品
- 化石燃料から代替燃料への適用技術

※Outdoor Power Equipment

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

売上高・地域別構成比
（2026年12月期 第3四半期）





国内は、水田・畑作・果樹・畜産など様々な作業現場で用いられる防除機械や、省人・省力化に寄与する作業機を製造販売
北米においては、農作物収穫機械を製造販売


乗用管理機


ラジコン草刈機


スピードスプレーヤ


ポテト収穫機（北米）

技術的な強み

培った防除技術にＩＣＴを融合し、スマート農業に貢献

送風技術・噴霧技術・散布技術

- 水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- 低騒音・大風量を実現する送風システムを開発
- 農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

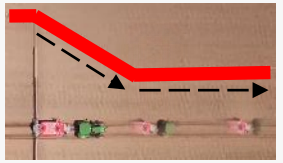

やまびこノズルの
噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径
110～270 ミクロン）

×

ＩＣＴ

- 世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- 全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- 設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術

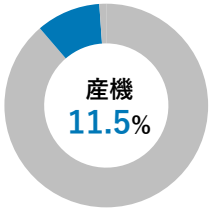


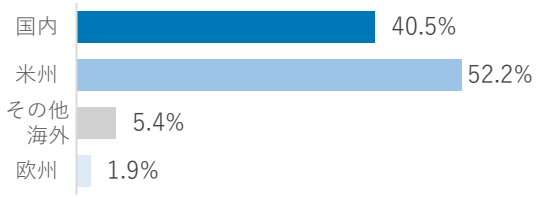


©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

事業セグメント：一般産業用機械

売上高・地域別構成比
（2026年12月期 第3四半期）





建設工事・防災・減災のほか
資源採掘現場やイベント会場等で用いられる機械の
製造販売



マルチハイブリッドシステム

太陽光発電・蓄電池・発電機
3つの電力源を組み合わせた
環境配慮型発電システム





技術的な強み



Multi Generator

世界初の三相/単相３線
切替なし同時出力可能
（米国特許・国内特許取得済み）

ECO

「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた2つのエコ機能の開発

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

ECHOを中核とするブランドポートフォリオ

グループの成長を牽引するグローバルブランド

✓世界最大のOPE市場である北米において50年以上の歴史を誇る
✓プロの緑地管理業者(ランドスケーパー)から高い信頼を獲得するグローバルブランド

8,500店	90%	46%
北米販売網	プロ認知度※	プロ使用率※

※ECHO Brand Health Study (conducted by The Farnsworth Group, April 2026,)

■ECHOブランドで展開するOPE製品



ハンドヘルド(手持ち)製品



車輪付き製品

■ECHOブランドで展開する産機製品



国内農業市場を支えるプロ向けブランド

✓ 国内の農業現場で長年支持されるブランド
✓ 刈払機や防除機において高い耐久性と作業性を実現



建設・土木市場を支えるプロ向けブランド

✓ 国内外の建設・土木現場を支える発電機・溶接機を展開
✓ 林業用チェンソー分野で林業家から高い信頼を獲得



■ブランド別の主な市場と顧客

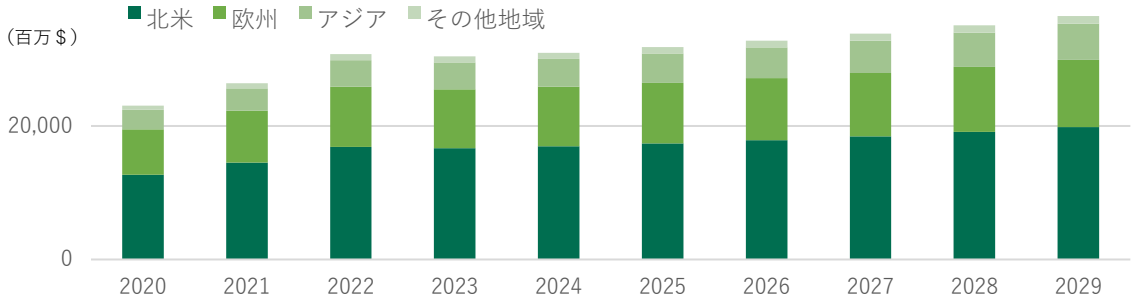
ブランド	主な市場	主な顧客
ECHO	海外市場	ランドスケーパー
KIORITZ	国内農業市場	農家・農業法人
shindaiwa	国内建設・土木市場	建設業者・レンタル会社

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

OPE市場規模

全地域市場※1

地域別の市場規模



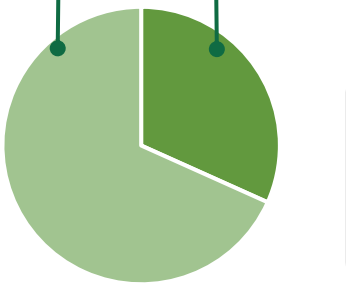


OPE製品
市場規模 約 320 億 USドル
（2025年見通し）

ユーザー別 構成比※1

一般ユーザー
・ホームオーナー



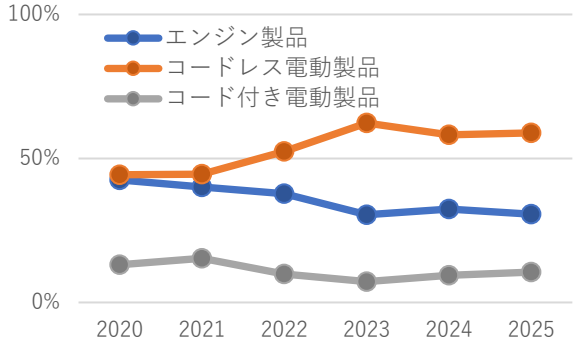


プロユーザー
・行政、緑地管理業者
（ランドスケーパー）など



北米市場

動力源別 構成比※2

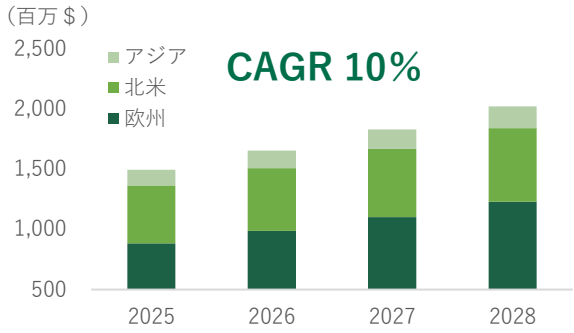


■市場概況
・OPEの世界最大市場
・電動化の進展は一服感
・エンジン製品の底堅い需要が継続

■事業戦略
・プロ向け製品の拡販
・ブランド力を活かした市場深耕

欧州市場

ロボット芝刈機の市場規模※1



■市場概況
・北米に次ぐ世界有数のOPE市場
・環境意識向上を背景に電動化が進展
・ロボット芝刈機市場の普及が先行

■事業戦略
・販売網強化によるプレゼンス向上
・ロボット芝刈機の拡販を推進

（出典）　※1　Markets & Markets レポート「Outdoor Power Equipment Market」より当社作成（対象：全地域）
※2　OPEIデータより当社作成（対象：北米地域）

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

国内生産体制



生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造
（機械加工・塗装・組立等）
農業用管理機械の製造（板金・塗装・組立等）

※ 大型防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達



生産本部
広島事業所

発電機・溶接機・電動工具の製造（組立 等）

※ 発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

- 生産事業所
- 生産子会社



生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造
（鋳造・金属処理・機械加工・組立 等）

生産関連子会社

- 追浜工業株式会社 （横須賀市）： 電装部品
- 双伸工業株式会社 （青梅市） ： 樹脂部品
- 株式会社ニューテック （長野市）： 試作部品
- やまびこエンジニアリング株式会社 （安芸高田市）： 板金加工

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

海外生産体制

やまびこヨーロッパ・エス・エイ
（ベルギー ブラバン・ワロン州）
ロボット芝刈機の製造

クレイリー・インダストリーズ
（アメリカ ノースダコタ州）
チッパーシュレッダー・大型農業機械等の製造



クイック・プロダクツ・インク
（アメリカ アリゾナ州）
当社製品のアクセサリー等の製造

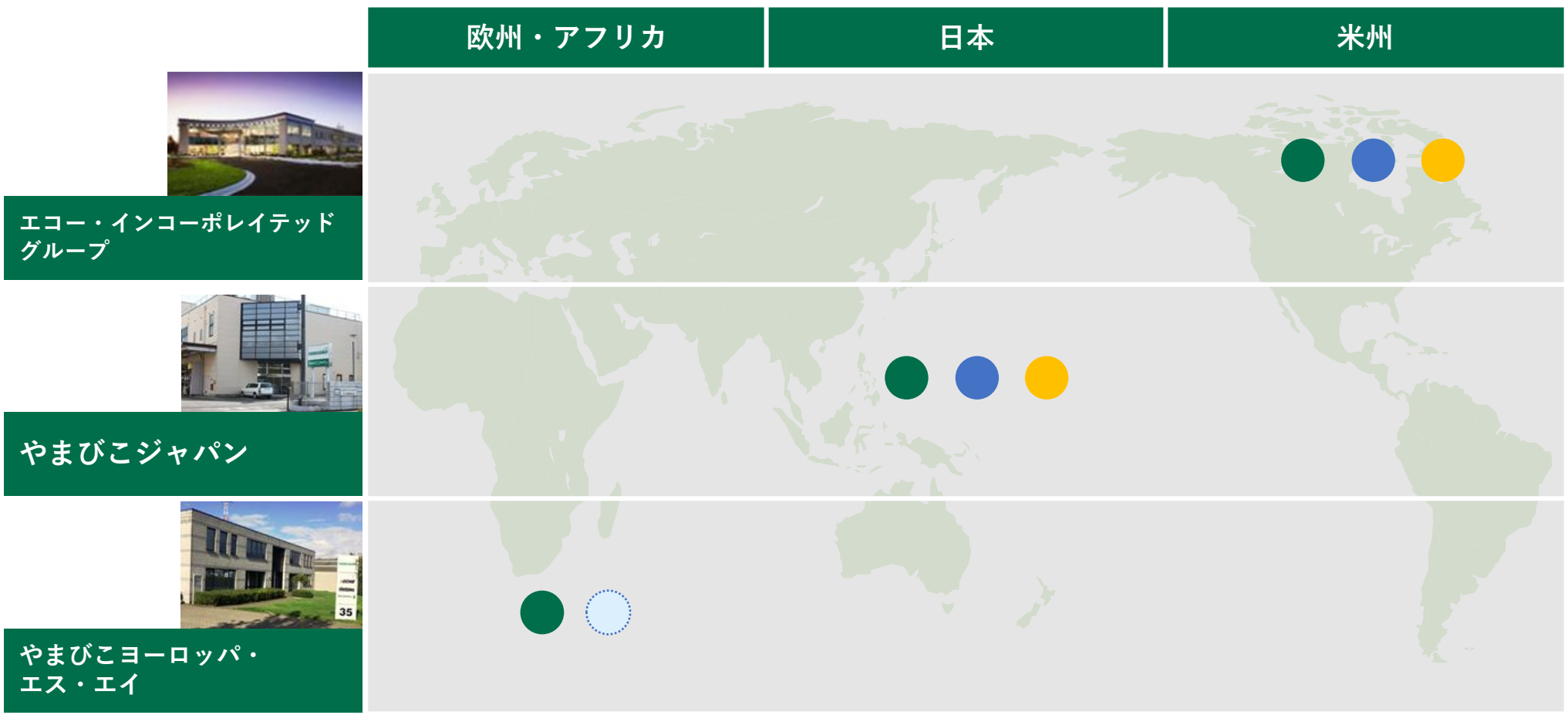
やまびこベトナム
（ベトナム ホーチミン市）
一般産業用機械の部品製造

エコー・インコーポレイテッド
（アメリカ イリノイ州）
小型屋外作業機械の製造
※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給



©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

販売体制



※アジア・中東・オセアニア地域にはやまびこ本社から販売

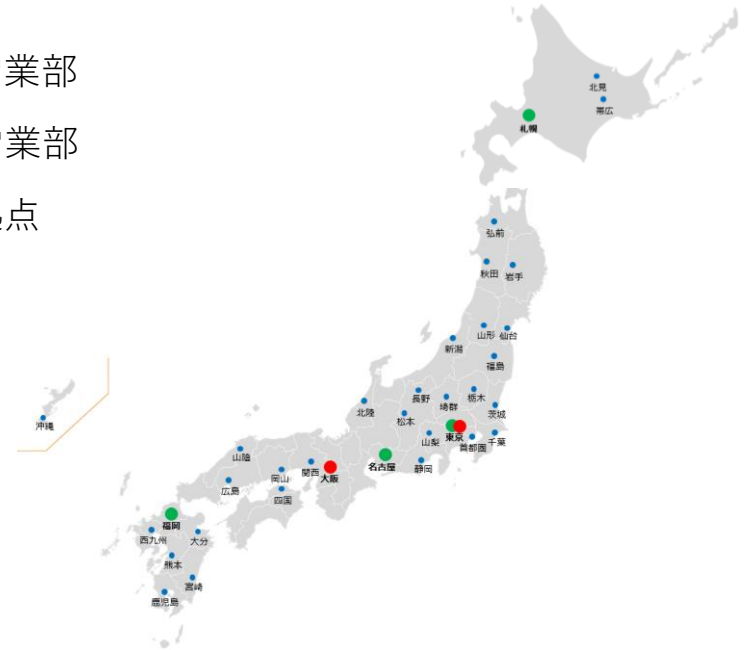
©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

やまびこジャパン株式会社

会社名	やまびこジャパン株式会社
設立	2017年6月
本社	東京都青梅市
拠点	6営業部 36拠点

国内販売拠点一覧

- 農林営業部
- 産機営業部
- 営業拠点



日本市場における販売拠点

多様な販売ルートと充実の営業体制で３事業３ブランドの販売を担う

充実した営業体制

- 共立・新ダイワ・エコーの３ブランドを販売
- 国内６営業部、36拠点の充実した営業体制
- 全社員の７割が営業・サービスに従事

セールス＝エンジニアとして迅速なサービス提供

- 高い専門性を有する社員がアフターサービスまで一貫して対応
- 農機具販売店やホームセンター、建機レンタル会社などの幅広い販売ルートを通じて多くのお客様に製品を提供

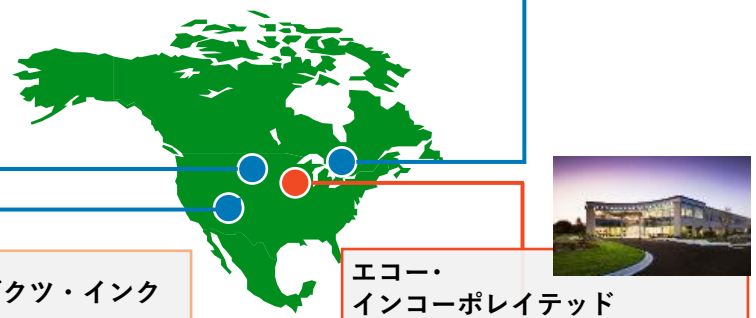
©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

会社名	エコー・インコーポレイテッド
設立	1972年11月
本社	アメリカ・イリノイ州
子会社	2社

エコー・インコーポレイテッドグループ

クレイリー・インダストリーズ
（アメリカ ノースダコタ州）
大型農業機械等の製造・販売

エコーパワーイクイップメント
（カナダ オンタリオ州）
小型屋外作業機械・農業機械の販売



クイック・プロダクツ・インク
（アメリカ アリゾナ州）
当社製品のアクセサリー等の製造

エコー・インコーポレイテッド
（アメリカ イリノイ州）
小型屋外作業機械・一般産業用機械の製造・販売

米州で50年続くECHOブランド

OPE・産業機械・大型農機用補助機の製造・販売拠点

やまびこグループ最大の販売会社

- 1972年の設立以来、米州市場で小型屋外作業機械を販売
  グループ売上高の6割を占める（2025年実績）

OPE市場をリードするECHOブランド

- パワーブロワ（1978年）や芝生の溝切機（1990年）など　世界初となる製品を投入し常に市場をリード
- 「Xシリーズ」をはじめプロユーザーから信頼を集める



世界初のパワーブロワ



プロ向け製品群「Xシリーズ」

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

YAMABIKO EUROPE SA

会　社　名	やまびこヨーロッパ・エス・エイ
設　　立	2002年3月
本　　社	ベルギー・ブラバン・ワロン州

やまびこヨーロッパ・エス・エイグループの販売拠点

欧州・アフリカの34か国に販売



ETABLISSEMENTS P.P.K.

2026年7月末からグループ入りしたフランスのOPE販売代理店



やまびこヨーロッパ・エス・エイ

ロボット芝刈機の製造・販売
および小型屋外作業機械の販売

欧州地域のOPE販売とロボット開発拠点

2021年に完全子会社化
欧州販売戦略を推進し売上拡大を図る

ベルギーから欧州全域へ展開

- **欧州・アフリカの34か国でOPE製品を販売**
- **統一した販売戦略と代理店・販売店サポートにより更なる売上拡大を図る**

お客様の声を取り入れた開発・販売体制

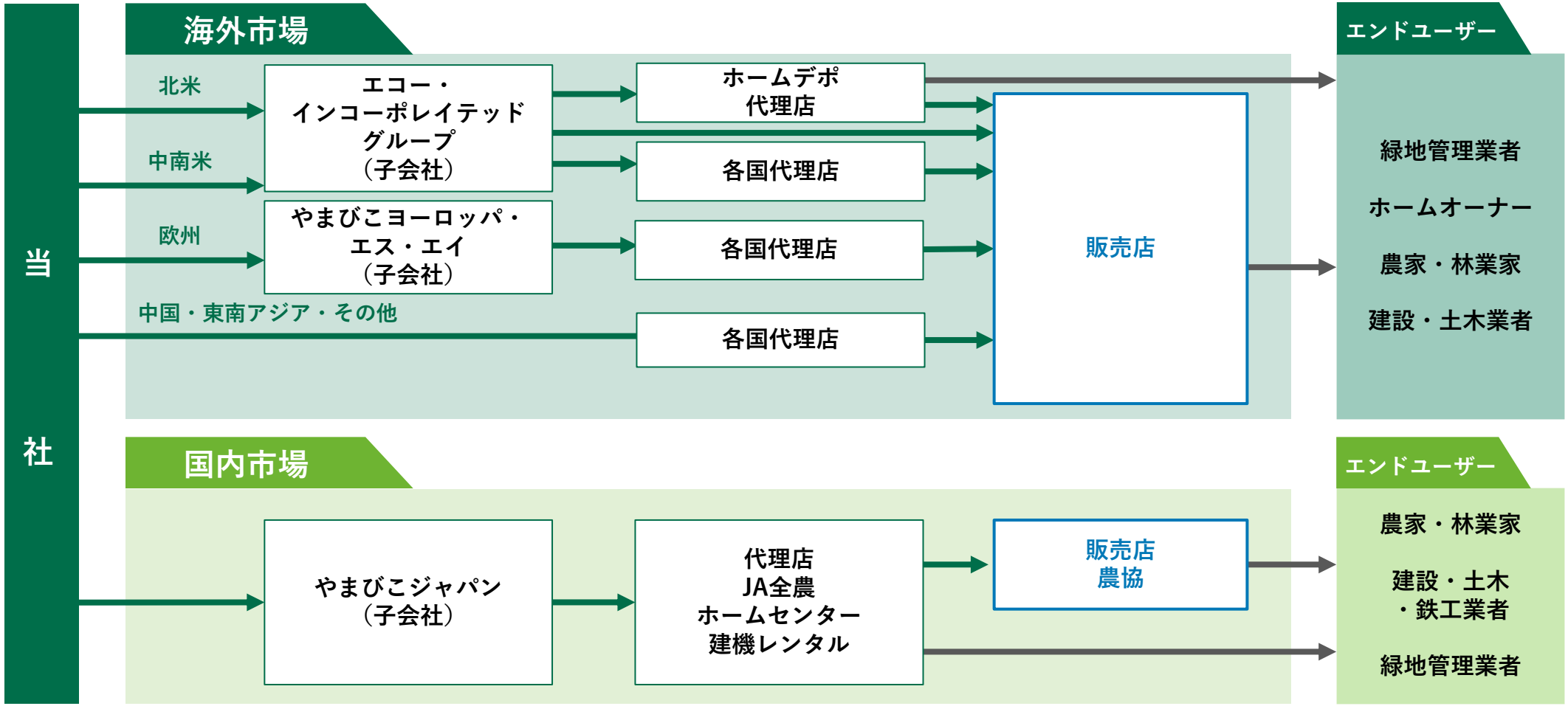
- **ロボット芝刈機の普及が進む欧州でマーケットインの開発を行い、業界をリードするロボット芝刈機を開発・販売**



©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

主な販売経路

販　売　経　路



©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

お問い合わせ先

株式会社 やまびこ　企画・経理本部 経営企画部
〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
e-mail：ir6250@yamabiko-corp.co.jp

©YAMABIKO CORPORATION. All rights reserved.（無断転載禁止）